



YOUR BEST PARTNER.

# 2022年3月期 第2四半期決算説明会

2021年10月29日

株式会社 **ハイマックス**

代表取締役社長 中島 太

証券コード: 4299 東証1部

<https://www.himacs.jp/>

# 目次

- 1 2022年3月期  
第2四半期 決算概要(連結)
- 2 中長期経営計画「C<sup>4</sup> 2022」の状況  
(2016~2022年度)
- 3 2022年3月期 業績予想(連結)
- 4 東証 新市場区分の選択方針

1

# 2022年3月期 第2四半期 決算概要(連結)

# 損益計算書(連結)



YOUR BEST PARTNER.

- 売上高 : 増収 (第2四半期累計の過去最高更新)
- 利益 : 増益 (第2四半期累計の過去最高更新)  
プロジェクト管理向上に伴う採算性の向上

(百万円)

	2021/3期 第2四半期累計		2022/3期 第2四半期累計		比較増減	
	(構成比率)		(構成比率)		(額)	(率)
売上高	7,585	100.0%	7,902	100.0%	+317	+4.2%
売上原価	6,072	80.1%	6,325	80.0%	+253	+4.2%
売上総利益	1,513	19.9%	1,577	20.0%	+64	+4.2%
販管費	859	11.3%	828	10.5%	▲31	▲3.6%
営業利益	654	8.6%	750	9.5%	+95	+14.5%
経常利益	659	8.7%	751	9.5%	+92	+14.0%
四半期純利益	443	5.8%	507	6.4%	+64	+14.4%

# サービス分野別売上高(連結)

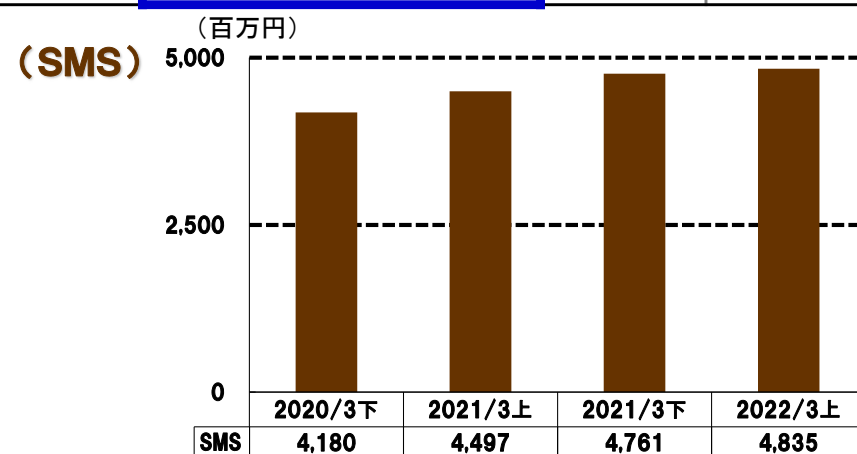
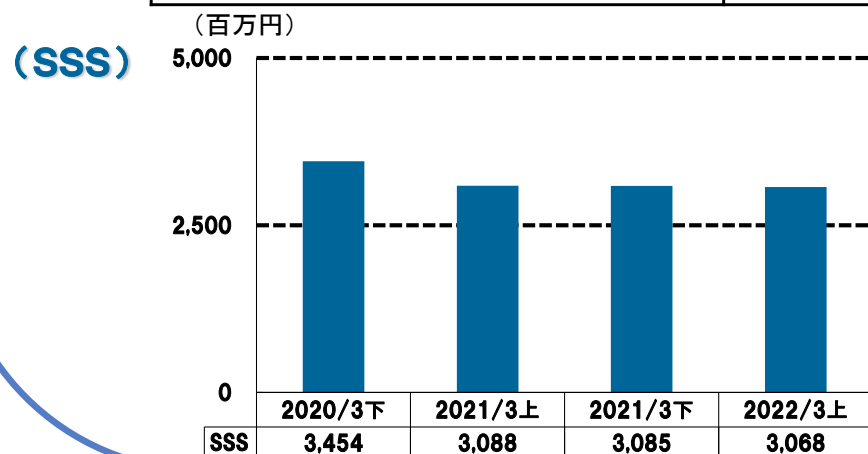


YOUR BEST PARTNER.

- **SSS** : 銀行業界向け案件で拡大、  
一方、クレジット及び公共の一部案件の収束
- **SMS** : 流通及びその他業界向け案件が拡大

(百万円)

サービス分野	2021/3期 第2四半期累計	2022/3期 第2四半期累計	比較増減	
	(構成比率)	(構成比率)	(額)	(率)
■ (SSS) システム・ソリューションサービス	3,088 (40.7%)	3,068 (38.8%)	▲20	▲0.7%
■ (SMS) システム・メンテナンスサービス	4,497 (59.3%)	4,835 (61.2%)	+338	+7.5%
合計	7,585	7,902	+317	+4.2%



# 業種別売上高(連結)



YOUR BEST PARTNER.

(百万円)

業種	2021/3期 第2四半期累計 (構成比率)	2022/3期 第2四半期累計 (構成比率)	増減率
<b>金融小計</b>	5,461 (72.0%)	5,469 (69.2%)	+0.1%
■ 銀行	998	1,157	+15.9%
■ 証券	231	177	▲23.5%
■ 保険	2,797	2,805	+0.3%
■ クレジット	1,435	1,330	▲7.3%
<b>非金融小計</b>	2,124 (28.0%)	2,434 (30.8%)	+14.6%
■ 公共	553	340	▲38.4%
■ 流通	370	526	+42.2%
■ その他	1,201	1,567	+30.5%
<b>合計</b>	7,585	7,902	+4.2%

## ■ 金融向け

- ✓ 銀行: DX関連拡大
- ✓ 保険: 需要に底打ち感あり
- ✓ クレジット: キャッシュレス  
案件が収束

## ■ 非金融向け

- ✓ 公共: 航空向けの  
一部案件が収束
- ✓ 流通: 大手スーパー及び  
コンビニ向けの  
案件の拡大
- ✓ その他: DX関連の拡大  
陸運企業向け  
新規案件に参入

# 顧客別売上高(連結)



YOUR BEST PARTNER.

(百万円)

業種	2021/3期 第2四半期累計 (構成比率)	2022/3期 第2四半期累計 (構成比率)	増減率
<b>Sler</b>	5,028 (66.3%)	5,537 (70.1%)	+10.1%
■金融	3,456	3,636	+5.2%
■非金融	1,571	1,901	+21.0%
<b>エンドユーザー</b>	2,557 (33.7%)	2,365 (29.9%)	▲7.5%
■金融	2,005	1,832	▲8.6%
■非金融	552	532	▲3.6%
<b>合計</b>	<b>7,585</b>	<b>7,902</b>	<b>+4.2%</b>

## ■ Sler

- ✓ 金融：
  - ・銀行向けDX関連拡大
  - ・生保向けの既存案件拡大
- ✓ 非金融：
  - ・大手スーパーの物流再構築案件に参入
  - ・陸運企業向け案件に参入
  - ・IoTプラットフォーム案件の拡大

## ■ エンドユーザー

- ✓ 金融：
  - ・ネット銀行及び損保並びにキャッシュレス案件の収束
- ✓ 非金融：
  - ・サービス業向け案件拡大
  - ・航空向け案件の収束

# 営業利益分析(連結)



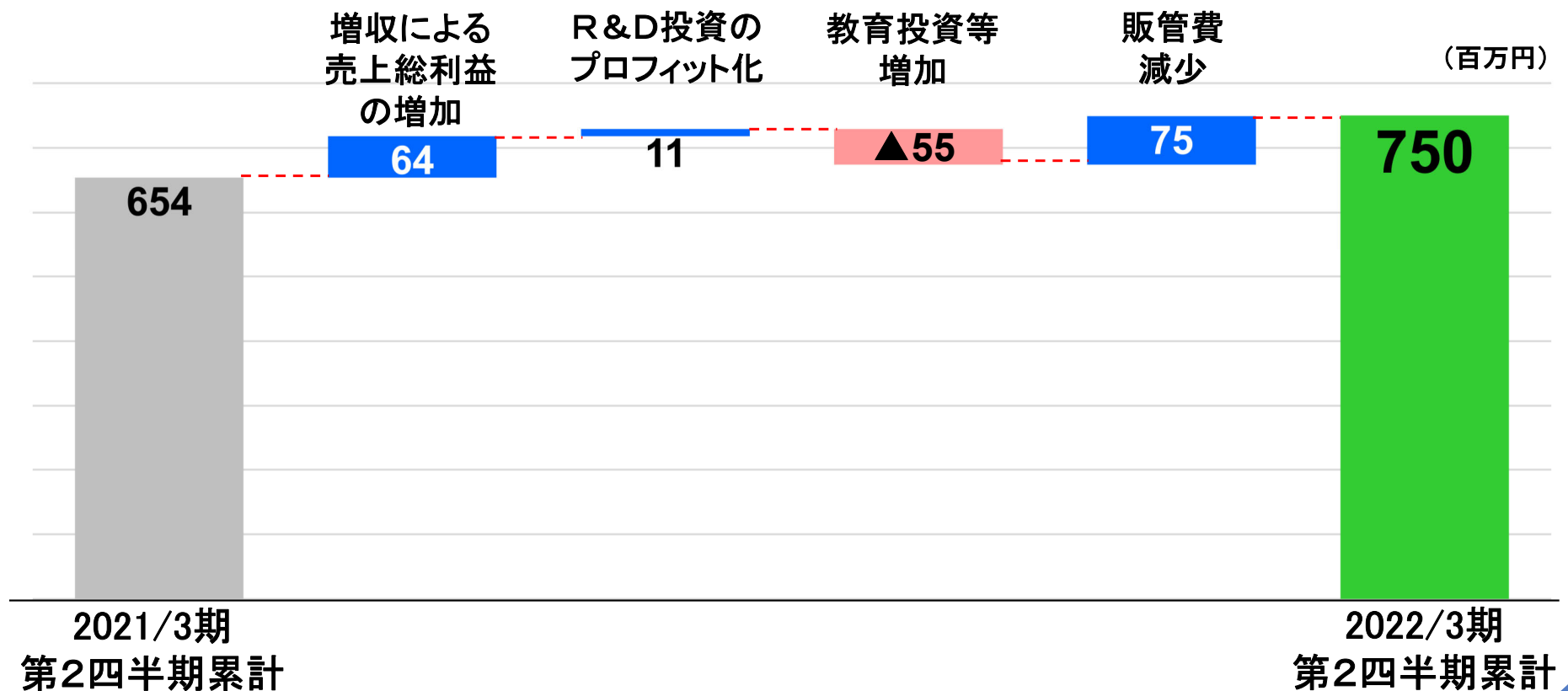
YOUR BEST PARTNER.

## <利益の増加要因>

- 増収による売上総利益の増加
- R&D投資のプロフィット化
- 販管費の減少

## <利益の減少要因>

- 教育投資等の増加





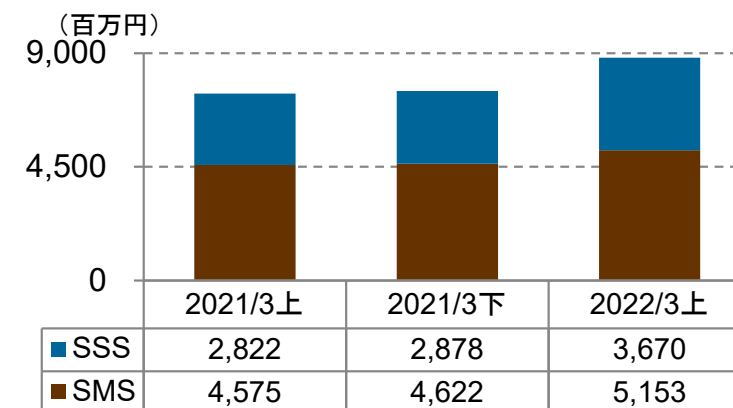
# 受注高及び受注残高の状況(連結)

■ 需要が堅調に回復。複数の案件が立ち上がり、SSSが大幅に増加。

## 受注高

(百万円)

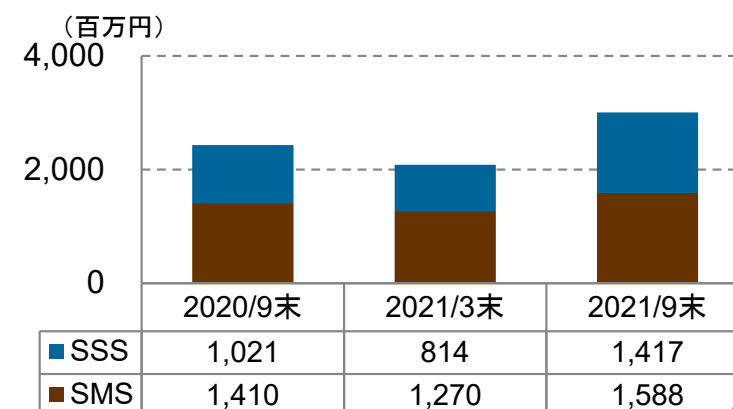
サービス分野	2021/3期 第2四半期累計 (構成比)	2022/3期 第2四半期累計 (構成比)	増減率
■ (SSS) システム・ソリューションサービス	2,822 (38.2%)	3,670 (41.6%)	+30.0%
■ (SMS) システム・メンテナンスサービス	4,575 (61.8%)	5,153 (58.4%)	+12.6%
合計	7,398	8,824	+19.3%



## 受注残高

(百万円)

サービス分野	2020/9末 (構成比)	2021/9末 (構成比)	増減率
■ (SSS) システム・ソリューションサービス	1,021 (42.0%)	1,417 (47.1%)	+38.8%
■ (SMS) システム・メンテナンスサービス	1,410 (58.0%)	1,588 (52.9%)	+12.7%
合計	2,431	3,005	+23.6%



※前年度まで、個別契約の締結、注文書もしくはこれらに準じる文書を受領したときをもって計上。  
今年度よりより、個別契約の締結時に計上することに変更。  
前年度も、変更後の計上基準に基づいた数値を記載。

# 受注残高の内訳(連結)

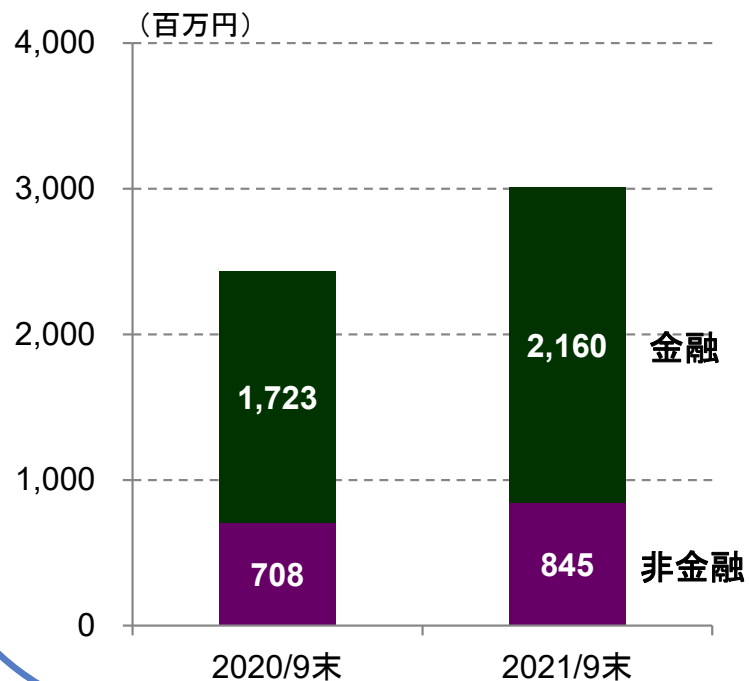


YOUR BEST PARTNER.

## ■ 金融向け及びエンドユーザー向けの案件の増加が寄与

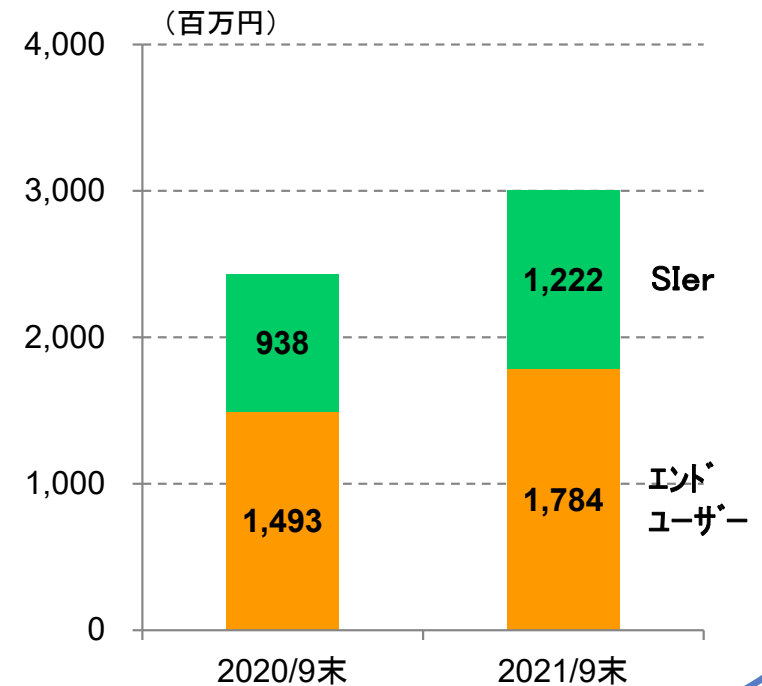
### 業種別

- 金融向け +437百万円
- 非金融向け +138百万円



### 顧客分野別

- Sier +284百万円
- エンドユーザー +291百万円



2

# 中長期経営計画

## 「C4 2022」の状況

(2016～2022年度)

- ① 既存の受託開発事業(コアビジネス)の拡大
  - ・重点顧客を中心に更なる取引深耕を図り、顧客ポートフォリオの安定性を高める。
- ② 顧客のビジネスモデル変革に対応した、DX関連案件の積極的受注
  - ・DXを実現するための新技術・開発手法の調査・研究
  - ・実作業を通じて、より実践的なDX技術者を増強
  - ・DX講座・実践トレーニングにより、DX技術者育成を促進
  - ・顧客の業務効率改善のソリューション提案
  - ・新規エンドユーザーの開拓
- ③ 体質強化への投資を継続
- ④ 開発人員の強化
- ⑤ 当該計画の課題解消に寄与する業務・資本提携やM&Aの遂行

1. 人材確保(新卒・キャリア採用)及び  
人材育成(重点教育施策)への継続投資
2. パートナー社員の調達力の増強
3. R&D投資
4. 社内インフラの整備
5. M&A投資

## ◆ 受託開発事業(コアビジネス)の拡大

### ☆ 重点顧客4社

- ✓ 非金融向けを中心に需要が回復し、案件が立ち上がる

売上高 +4.7%

金融向け +0.4%

非金融向け +17.5%

売上高構成比 64.0%  
(0.2%上昇)

受注残高 +38.4%

## ◆ DX関連案件の積極的受注

DX売上高	703百万円 +5.6%
-------	-----------------

売上高構成比	8.9% (0.1%上昇)
--------	------------------

受注残高	+42.0%
------	--------

- ✓ 生命保険会社向けのデータ分析及び機械学習モデル構築案件
- ✓ 損害保険向け営業システム案件
- ✓ クレジット業界向けのアジャイル開発案件
- ✓ 製造業向け『Anaplan』(意思決定支援ツール)導入支援
- ✓ 大手SIerのIoTプラットフォーム・アジャイル開発案件
- ✓ 大手SIerとのDX関連技術研究の協業  
クラウド技術(AWS、Azure、GCP)、コンテナ技術 等
- ✓ 中小企業様向け 受注予測 PoC案件

## ◆ 体質の強化

### ☆ 重点教育

- ✓ DXプラットフォーム(AWS、Azure、GCP 等)
- ✓ DX系技術者の育成 : データサイエンス系のコンペに複数参加  
(データ分析、アジャイル、ビジネスデザイン)
- ✓ PL育成 : 一部新規コンテンツを追加  
(品質管理、スコープ管理、コスト管理、進捗管理)
- ✓ 開発力育成(開発プロセス、問題解決力)

### ☆ プロジェクト運営の標準化

- ✓ 自社開発プロセス標準をリニューアルし、全社運用を開始  
(定量的な計画・報告、マネジメントプロセスの軽量化等)



## ◆ 体質の強化

- ✓ 社内講座をオンラインでも受講可能に動画配信
- ✓ 技術の資格取得を継続推進
  - **AWS関連資格取得数** : 76資格 (2021/9末現在、重複取得含む)
  - **認定スクラムマスター(CSM)及びCKADの取得推奨**

資格名称	資格取得者数 (単位:名)※		
	2021/3末	2021/9末	増減
基本情報技術者	492	496	+4
応用情報技術者	246	246	0
ITストラテジスト	3	3	0
システムアーキテクト	25	25	0
プロジェクトマネージャ	17	15	▲2
ネットワークスペシャリスト	14	13	▲1
データベーススペシャリスト	32	32	0
エンベデッドシステムスペシャリスト	2	2	0
情報処理安全確保支援士試験	27	27	0
ITサービスマネージャ	3	3	0
システム監査技術者	2	2	0
PMP	27	27	0
その他(ベンダー資格含む)	549	561	+12
合計	1,439	1,452	+13

※重複取得含む

## ◆ R&D投資

- ✓ 先端技術の研究等へ継続投資
  - ・AI技術研究 : 特徴量エンジニアリング、MLOps
  - ・生産性向上策調査 : テレワーク環境に特化した手法・ツールを調査
- ✓ 社内技術情報交流会『HM-Tech Day』をオンライン開催
  - ・生産性向上ツール、データ分析、クラウド環境構築のデモ実施
  - ・先端技術の社内展開を図り、多様な顧客ニーズへの対応を目指す

## ◆ M&Aの推進

3

## 2022年3月期 業績予想(連結)

# 2022年3月期 業績予想(連結)

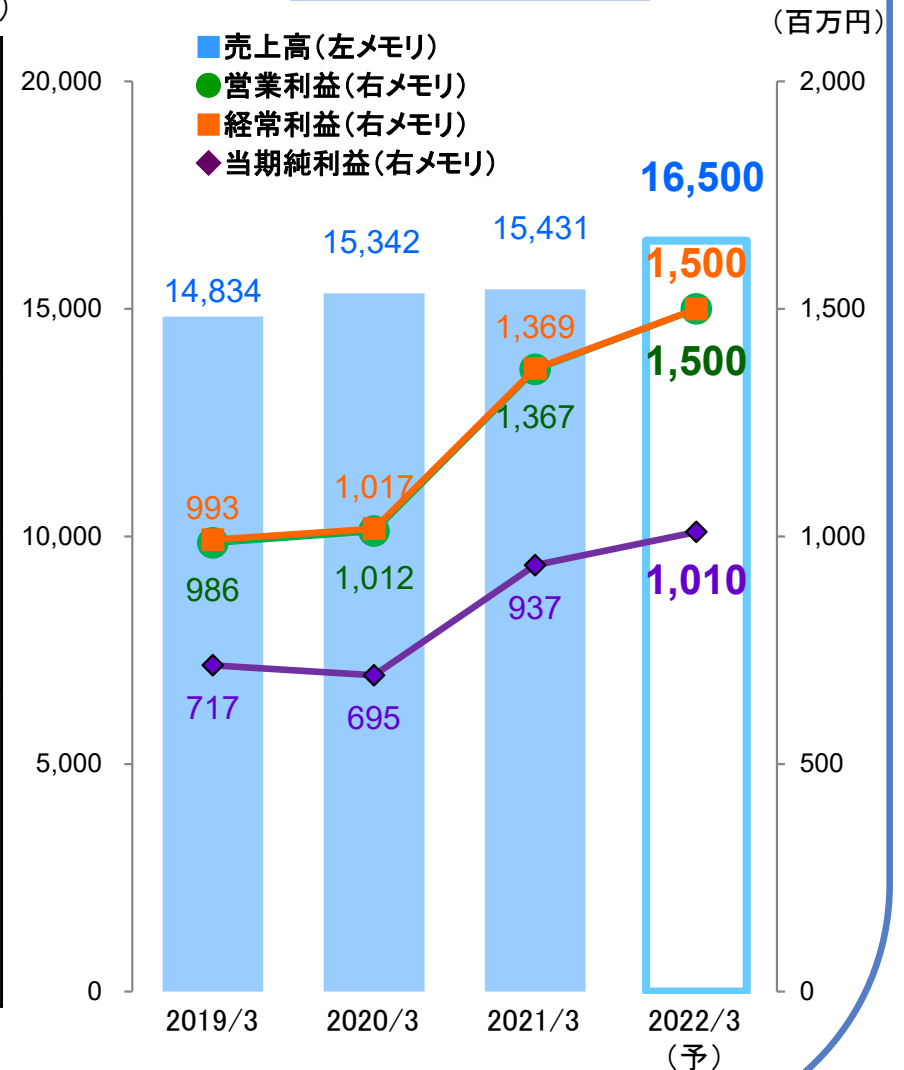


YOUR BEST PARTNER.

## 連結業績推移

(百万円)

	2021/3期 実績	2022/3期 予想	増減率
売上高	15,431	16,500	+6.9%
営業利益 (利益率)	1,367 (8.9%)	1,500 (9.1%)	+9.7%
経常利益 (利益率)	1,369 (8.9%)	1,500 (9.1%)	+9.5%
当期純利益 (利益率)	937 (6.1%)	1,010 (6.1%)	+7.8%
1株当たり 当期純利益	94円81銭	87円11銭	—

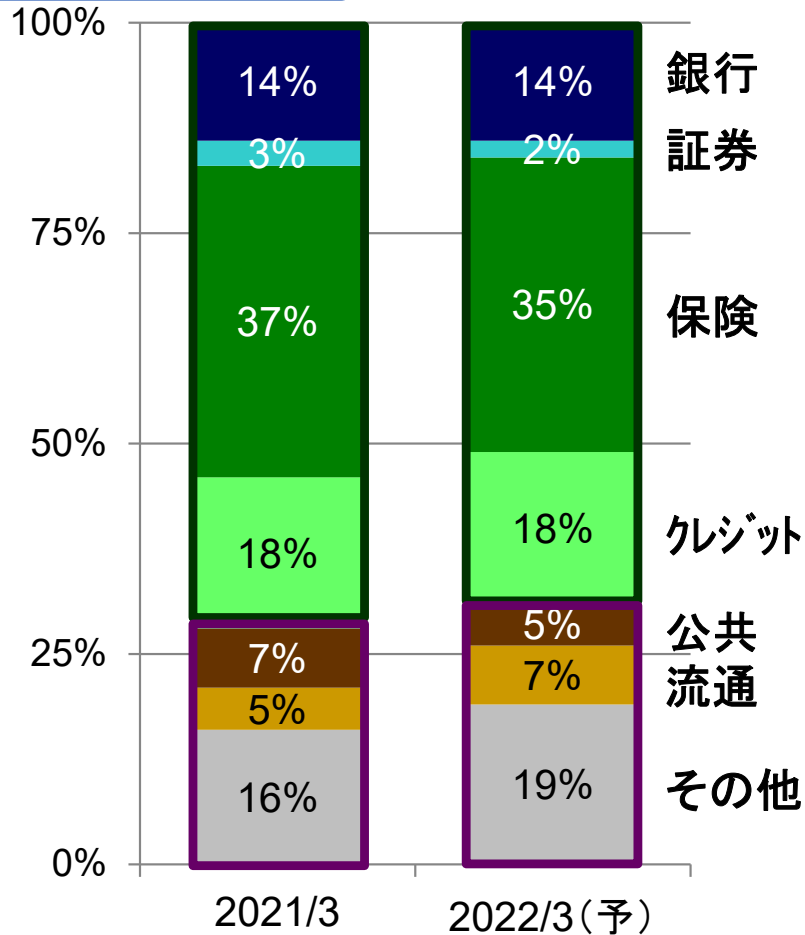


# 業種別売上高の動向(連結)



YOUR BEST PARTNER.

## 構成比の推移



- **金融向け 構成比 69%**
  - ✓ 銀行：DX関連案件の継続
  - ✓ 保険：生保向けの需要回復  
損保向け一部案件の収束
  - ✓ クレジット：エンドユーザー案件の拡大
- **非金融向け 構成比 31%**
  - ✓ 公共：中央官庁案件及び  
航空向け案件の収束
  - ✓ 流通：大手スーパー及びコンビニ  
案件の継続拡大
  - ✓ その他：陸運企業向け案件及び  
DX関連案件の拡大  
エンドユーザーとの取引継続

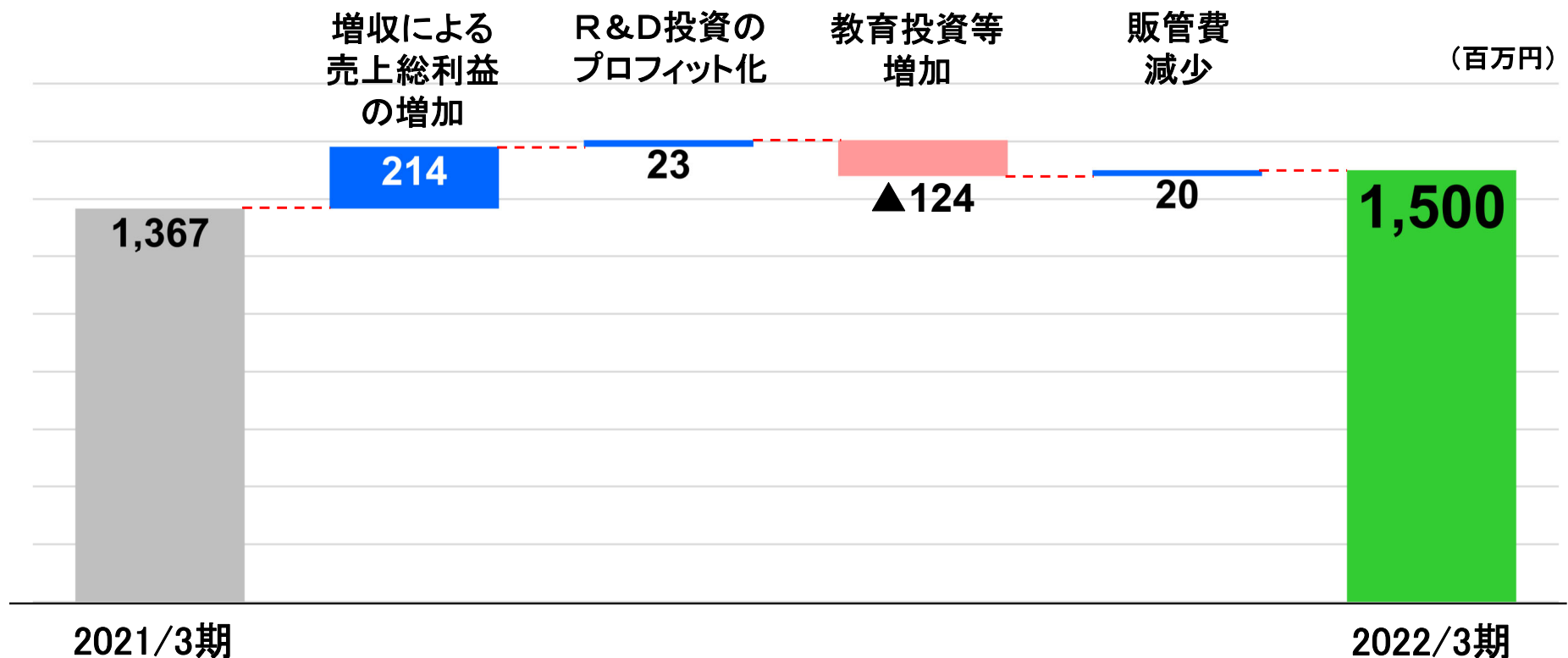
# 営業利益予想分析(連結)

## <利益の増加要因>

- 増収による売上総利益の増加
- R&D投資のプロフィット化
- 販管費の減少

## <利益の減少要因>

- 教育投資等の増加



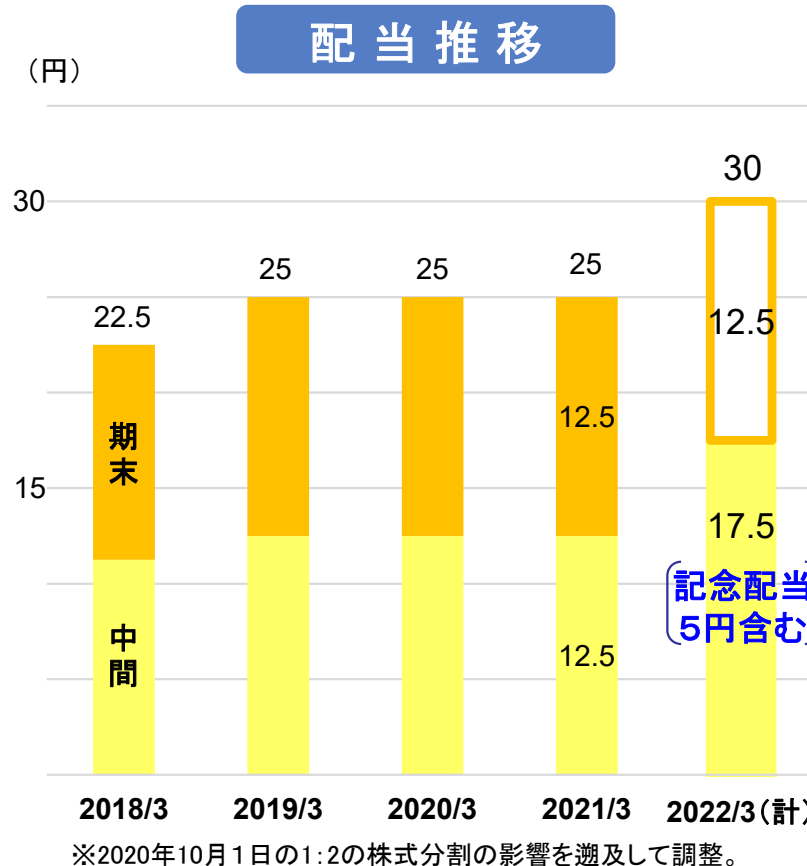
# 配当の状況



YOUR BEST PARTNER.

- 2022/3期 中間配当：創立45周年記念で5円の記念配当実施

	2021/3期	2022/3期 (計画)	増減
中間配当	12.5円	17.5円 創立45周年記念 配当5円含む	+5円
期末配当	12.5円	12.5円	—
年間合計	25円	30円	+5円
配当性向	26.4%	34.4%	—



## 4 東証 新市場区分の選択方針



# 東証 新市場区分の選択方針

## 1. 新市場区分の選択方針 プライム市場を選択します

## 2. 上場維持基準への適合状況

プライム市場の上場維持基準		当社の数値	適合状況
流通株式数	20,000単位以上	83, 599単位	適合
流通株式時価総額	100億円以上	92. 8億円	不適合
流通株式比率	35%以上	67%	適合
売買代金	1日平均売買代金 0.2億円以上	0. 3億円	適合

※上記の数値は、保有目的が純投資である株式を含めた二次判定結果に基づき記載。  
流通株式時価総額の算定に用いた株式の最終価格の平均値は1,111.1円。

## 3. 上場維持基準の充足に向けた主な取り組み

- 現中長期経営計画の完遂に基づく、事業規模の拡大
- 体質強化への継続投資及びM&Aの実現による、企業価値の向上
- IR活動の強化による、当社事業への理解と認知度の向上
- 株主還元策の更なる充実により、当社株式への投資魅力を高める
- 流通株式数の増加に向けた検討・実施

※「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」は、2021年12月までに東証へ提出及び開示する予定。

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。



YOUR BEST PARTNER.

# 2022年3月期 第2四半期決算説明会

2021年10月29日

株式会社 **ハイマックス**

代表取締役社長 中島 太

証券コード: 4299 東証1部

<https://www.himacs.jp/>